

グレタ・トゥーンベリさんのその他の情報（2019.10.18 現在）

1. **グレタさんは、昨年8月から「Fridays For Future」を始めた。**

グレタさんは、昨年8月から毎週金曜日に学校をさぼって、スウェーデン議会前や学校で座り込みを始めた。最初は独りぼっちだったが、オーストラリア、ベルギー、ドイツ、米国、日本など十数カ国に広がっていった。

2. **グレタさんは、9月の国連気候変動サミットに出席するためヨットで移動**

グレタさんは、国連気候変動サミットに出席するためヨットで大西洋を横断し8月28日に15日間にわたる4800kmの旅を終えてニューヨークに到着した。二酸化炭素の排出を懸念するグレタさんは、飛行機の代わりにCO₂排出量がゼロのヨットを選んだ。グレタさんが乗ったのは18mの競技用ヨットで、電気は太陽光パネルや風力発電で賄われた。航海には父親のスヴァンテ氏と船長のボリス・ハーマン氏やスウェーデンのドキュメンタリー作家ネイサン・グロスマン等が同行した。

3. **グレタさんは、ライト・ライズリフッド賞を受賞**

グレタさんは、もう一つのノーベル平和賞と言われる「ライト・ライズリフッド賞」を受賞。グレタさんの「科学に耳を傾けて行動しよう」という呼びかけで、世界各地でデモが行われ、主催者によると抗議運動への参加者は660万人を超えた。

4. **フーチン大統領は、グレタさんを批判**

ロイター通信によると、フーチン氏は、10月2日、モスクワで開催されたエネルギーフォーラムに出席した際、「がっかりされるかもしれないが、グレタさんの発言に感動する人たちに私は共感しない」と否定的見解を示し、「大人たちは、誰も彼女に世界の複雑さや多様性を教えなかったのだろ」と指摘し、「アフリカやアジアなどの多くの発展途上国は、コストのかかる太陽光発電で需要を賄うことはできない」と述べた。その上でグレタさんを「優しくて誠実な女の子だが、情報に乏しい」とも批判した。若者が環境問題に関心を持つことは良いこととしつつ、「大人が自らの利益のため子供を利用することは非難に値する」とも語った。

5. **フーチン氏に批判されたグレタさんがSNSで「仕返し」**

フーチン氏の批判に対し、グレタさんはすぐさま反応、自身のツイッターのプロフィールに「優しいが情報に乏しいティーンエイジャー」と表記し、フーチン氏の発言を揶揄し、「（気候変動の影響は）現在の最善で、利用可能な科学によって証明されている」と持論を述べた。

6. **トランプ大統領は、グレタさんをツイートで冷かした**

トランプ氏は地球温暖化に対して考え方が全く異なるグレタさんにたいして「彼女は明るく素晴らしい未来を見つめるとても幸せな少女のようだ。とてもうれしい」とツイートして冷かした。

7. **グレタさんは、自閉症の一種であるアスペルガー症候群を患っている**

BBCの取材にグレタさんは、「この症状で枠にとらわれずに物事を見られるようになった。他のみんなと同じだったら、学校ストも始めなかったかもしれない」と